



E-Mail: taniyama-cc@Lagoonne.jp URL: <https://catholic-tc.jp>

発行人: 盛 克志神父 編集委員: 上原敏子、上釜照美、徳永珠美

いのちの祭り～復活祭～

カトリック谷山教会主任司祭 盛 克志



主の復活おめでとうございます！今年も喜びの季節がやってきました。私たちに与えられている福音の中心は十字架と復活であり、御言葉はこの最も大事な、二つの出来事を伝えるために、「本当に」、の一語を使っています。「本当に主は復活して・・・。」(ルカによる福音書 24 章 34 節)この言葉に促されて、十字架と復活の出来事を、紛れもない事実として、深く心にとめるようにと教えられています。教会の祭りはいのちの祭りです。いのちに満ちて生きておられるイエスをお祝いします。

復活祭とは、イエスが復活させられたことで、実は私たちの将来の復活が確実にしたことを神に感謝し、喜び祝う日でもあります。イエスの復活は、イエスに続いて私たちが復活させられるための復活だったのです。私たちの復活のためにイエスの復活が起きた。それで復活祭は私たちにとって大きな喜びの日になるのです。

今日、私たちはどこに行き生きてきたキリストにお会いできるのでしょうか。

イエスの弟子たちの集まりである教会のミサの中に臨在してくださる主を求めることです。ミサにおいて、み言葉とご聖体によって臨在しておられる生ける主にお目にかかるのです。聖書を見てみますと、イエスご自身がその日の夕方、弟子たちの中に現れてみ言葉を語ってくださいました。ルカ福音書には、エマオ途上でのイエスの現れが記されています。ヨハネ福音書ではエルサレムの中で閉じこもっている弟子たちに現れて「平安があるように」と言われて十字架の傷跡を示されたことが記されています。イエスは、実際に弟子たちの集まりの中に現れてくださいます。復活されたイエスは、今も私たちの中に現れて、み言葉を語られます。私たちは主にお目にかかるために、み言葉によって私たちの中に現れてくださる生ける主を礼拝するのです。

復活のイエスは私達の目を開かせ、絶望から希望へと立ち上がらせ、新たな使命を与えてくださいます。この喜びと共にさらに前進して行きましょう！

Christ is risen. He is risen indeed!

4月の聖人より

聖マルコ福音記者 (1世紀)

4月25日 祝日



公証人の守護者。キリストの時代、ユダヤに生まれた聖マルコは、イエス自身の弟子ではなかったが、聖ペテロの弟子であり、ペテロの見聞したイエスの教えやおこないをまとめて、マルコの福音書を書いた。エジプトのアレキサンドリアで布教中に異教徒に捕らえられ、殺害された。820年ごろ、ヴェニスの人たちがその遺骸をヴェニスに運び、彼をその市民の守護者とした。また、墓の上には、今日有名な大聖堂がたてられた。(電子書籍 聖人伝より)

聖ヨハネ・バプティスタ(ラ・サール) 司祭

4月7日 記念日 1651年～1719年

ラ・サール会の創設者。教師の守護者。フランス北部のランスの名門の家に生まれた聖ヨハネは、27歳の時司祭となった。ヨハネは、貧しい子供たちの不幸と、教育の必要性を感じるようになり、子供たちの教育に身を捧げることを決心した。1684年、彼は父から受け継いだ莫大な資産を投じて、貧しい青少年の教育を目的とする修道会、ラ・サール会を設立した。その実践は、偉大な教育学者、学校改革者と呼ばれている。(電子書籍 聖人伝)



見学の方大歓迎。
団員または、下記
連絡担当者へご
一報下さい。

memory

～思い出～

2月25日(日) 午後5時より

カトリック鹿児島
司教区昇格
記念ミサ

鹿児島カテドラル・
ザビエル教会
司式 中野裕明司教



募集のご案内

谷山教会聖アルフォンソ合唱団へのお誘い

私たちの聖アルフォンソ合唱団は、2005年10月発足し、谷山教会を拠点とする合唱団です。主にモーツァルトのミサ曲を中心に練習しています。合唱が好きな方、歌ってみたい方、私たちと一緒に歌いませんか！



練習日・・・毎週日曜日 10:00～12:00

場所・・・カトリック谷山教会クレメンズホール

連絡先・・・上片平一郎 090-7473-5771

e-mail・・・ikamiktahira@gmail.com

楠原陽子(080-4279-0477)

e-mail・・・yoyoan47@hotmail.co.jp



さて私ごとですが、私は、11月29日(日)、教会の玄関の前で車を待っておしゃべりしている間に右足が疲れて急によろよろと地面*

“春は名のみの風の寒さや”と昔の人々が歌ったように寒い日々が続いています。皆さまお元気で復活祭に向けて主と共に歩いておられることでしょうか！
枝の主日で主はすべての人類の罪を背負って、罪の償いとして十字架の上で自分の命を捧げるといふ、救い主の使命を歩きはじめられました。私たちも主の跡に従い十字架の道を歩くとき、ロザリオにしても、受難の黙想がいちばん救い主の愛を心に深く味わうことができるのではないかと思います。

出来事

高架橋を走る
黄色い列車
を眺めた日々

シスター下川千穂子



*に引き込まれ、あつという間に転倒、か細い左手が右全身をかばい複雑骨折、一緒に立っていた人々が、すぐ救急車を呼んでくださり、米盛病院へ運ばれました。救急処置を受け、なぜか又、谷山の病院へ。次の日、谷山の病院に行きま

十 主の平安

谷山教会の皆様、主の御復活おめでとうございます。長い四旬節を経て聖週間を通して私たちは主の御受難を思いだけでなく目でも体でも感じることができるようになっています。枝を持って主を迎え、主の最後の晩餐と聖櫃を空にして祭壇を裸にして主の死を体験する聖木曜日。十字架礼拝と受難の朗読の聖金曜日。そして主の御復活を光の式と洗礼式で迎える復活徹夜祭。こうして、私たちは自分の心身に主の受難と復活を刻み込むのです。私たちの心を空にして父と子と聖霊の思いで満たして神と人々に仕えることができますように。



ヤコブ
福崎英雄神父



朝寝坊には目覚まし時計
神風ドライバーには信号
ドロボーにとっては街灯
不心得者にとっては良心

ハンス・ハヌス師
「心に残ることばより」



ジャマモノ

山と信仰 (2)

ヒマラヤとの出会い

9班 古木圭介

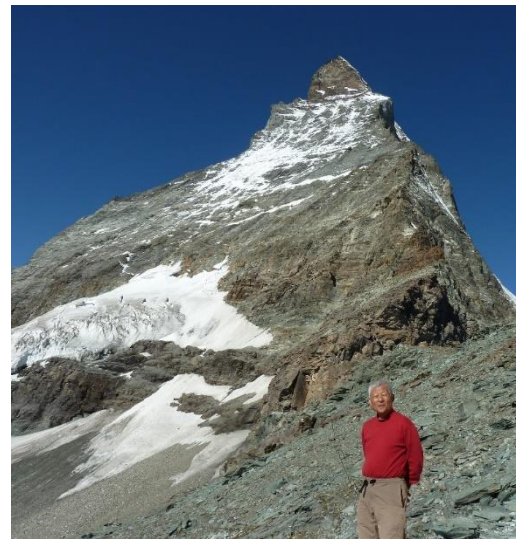
初めての海外旅行先は学生時代のネパールへの旅でした。

一人で3ヶ月のバックパッキングの旅に出かけました。貧乏旅行でしたが振り返ると人生でもっとも充実した旅だったのかもしれない。山中ではチベット人の農家に泊めてもらい、わずか10円程度のお礼でも両手で大事そうに受け取る姿はいまでも脳裏に焼き付いています。

彼らの人生は貧困そのものです。チベット仏教のラマ教が心の支えで、死んだ後は必ず極楽で楽しく暮らせると信じて、毎朝、毎夕、ヒマラヤの高峰に向かい祈りを欠かしません。

世界の最高エベレストをチョモランマ(大地の女神)やサガルマー(大空の頭)などと呼びあがめています。

私はその後、何度かヒマラヤの山歩きをしましたが、山中に入る前にシェルパの案内で必ずラマ教のお寺に行き、僧侶から安全祈願してもらい首に**カタ**と呼ばれるスカーフをかけてもらいました。ヒマラヤ山麓に暮すチベット人にとってヒマラヤの高峰は神の住む神聖なところであり足を踏み入れるためには祈りが必要なのです。山には常に危険が潜んでいます。心の不安はつきものですが、その不安を少しでも和らげてくれるのが、神の存在だということです。山に挑むのではなく、山に登らせていただくという謙



(スイス・アルプスのマッターホルン4478m)に挑戦。2011年8月垂直の壁と薄い酸素に悩まされ敢無く途中で敗退したが、少年時代から憧れの山への挑戦は満足したものだ。69歳の夏の思い出となった。

虚な気持ちになれるのだと思います。この山の楽しさと厳しさを教えて下さった恩師で熱心なカトリック信者であった岩井正二先生に感謝したいと改めて思います。



2006年11月
ヒマラヤ登山中の私とシェルパのアンパサン
遠くにある聖なる山アマダブラムを背に記念撮影
6020m地点 気温マイナス25度



—ヒマラヤの青いけし—

令和6年(2024年)谷山教会04月の予定と祝日表(04月01日～04月30日)

日 時			典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会	
1日	月	6:30	朝ミサ	今月の行事当番班は⑩班です。			
2日	火	6:30	朝ミサ				
3日	水	19:00	召命ミサ				
4日	木	6:30	朝ミサ				
5日	金	6:30	初金ミサ				
6日	土	19:00	復活節第2主日のミサ			⑥・⑦	教会
7日	日	6:30&9:00	復活節第2主日(神のいつくしみの主日)		⑥・⑦		
8日	月	祭日 6:30	神のお告げ 朝ミサ				
9日	火	6:30	朝ミサ				
10日	水	19:00	召命ミサ				
11日	木	6:30	朝ミサ				
12日	金	6:30	朝ミサ				
13日	土	19:00	復活節第3主日のミサ		⑧・⑨	教会	
14日	日	6:30&9:00	復活節第3主日 15:00～役員会	⑧・⑨			
15日	月	6:30	朝ミサ				
16日	火	6:30	朝ミサ				
17日	水	19:00	召命ミサ				
18日	木	6:30	朝ミサ				
19日	金	6:30	朝ミサ				
20日	土	19:00	復活節第4主日のミサ 設営10班		⑩	教会	
21日	日	6:30&9:00	復活節第4主日 9:00ミサ後司牧評議会 アチエス14:00～	⑩			
22日	月	6:30	朝ミサ				
23日	火	6:30	朝ミサ				
24日	水	19:00	召命ミサ				
25日	木	祝日 6:30	聖マルコ福音記者 朝ミサ				
26日	金	6:30	朝ミサ				
27日	土	19:00	復活節第5主日のミサ 設営1班		①	教会	
28日	日	6:30&9:00	復活節第5主日 9:00ミサ後信徒総会 (会計報告と活動方針及び決算の承認)	①			
29日	月	記念日 6:30	聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士 昭和の日				
30日	火	6:30	朝ミサ				

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	2,9,16,23, 30日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 13:30～	3,10,17,24日
聖書と教理－Ⅱ	毎週金曜日 10:00～12:00	5,12,19,26日

*5/12 9:00ミサ後 10:30～納骨堂総会